

施設の崩壊は職員の感染から！

たった一人の職員が施設に持ち込んだ新型コロナウイルスによって、施設は崩壊します。感染者が出た場合、施設がどうになってしまうのかを書きました。

(在宅系事業所)

- 感染者が出たデイセンター、小規模多機能は即日休業。感染者との濃厚接触した利用者・職員は全員 PCR 検査し自宅待機。
- 非濃厚接触の職員は、濃厚接触者の全調査、家族への連絡、保健所への対応、施設内消毒、代替の訪問介護等で残業・休日出勤。
- ショートステイの新規利用者は受入停止。通所・訪問・短期入居のサービスが受けられない介護難民が町にあふれだす。

(施設)

- 感染者が出た施設は即時、利用者全員自室隔離。
- 感染者と濃厚接触した利用者・職員は、全員 PCR 検査。職員は即刻自宅待機（2 週間）。2 回の再検査で陰性となるまで待機。
- 非濃厚接触の職員だけで、各室で隔離された全入居者の介護・看護・生活支援を行う。
- 妻帯者が家族へ感染することを低減するため、独身者が優先して施設に泊まり込み、休日返上で入居者の介護・看護・生活支援にあたる。
- 事務職員は手薄な介護職員の補助として食事介助、生活支援等にあたる。入居者の生命・生活を優先するため、停滞した事務仕事は残業・休日出勤で行う。

(共通)

- 集団感染が起きれば、「あの施設に家族を任せられない」とこれまで築いてきた信頼が失われる。
- 疲労・ストレスがピークに達し、体調不良による欠勤、離職者が出る。
- 離職者は感染施設の職員ということで敬遠され再就職できない。
- 総務課職員は、マスコミ・家族・行政への対応、感染症物資の補給・管理、介護・看護職員の後方支援に昼夜追われる。
- 休業・新規受入停止で収益減少となり赤字運営となる。赤字となれば賞与・処遇改善手当等は削減。
- 感染による入院・死亡により利用者・入居者減少。利用者数に見合う運営を行うため職員の勤務日数削減。

たった一人の職員が施設にウイルスを持ち込めば、死者が出て、最悪、職場がなくなるかもしれないという危機意識をもってプライベートを過ごしてください。

職員のプライベートにおける感染リスクをゼロに近づけるため、次の事項を守るよう強くお願いします。



次頁へ



2

(施設長からの強いお願い)

1. 家族・友人・人数に関わらず、外食・カラオケ・温浴施設・パチンコ・喫煙所等に行かない。
2. クラブ活動・サークル活動に参加しない。
3. できるだけ、葬儀・結婚式・法事等の冠婚葬祭に参列・出席しない。
4. 旅行に行かない。特別な事情がある場合は届書を提出してください。
5. 混雑した店に入らない、レジに並ぶときはできるだけ2m以上の距離をあける。
6. 休憩時間は「3つの密」を避けるために、できるだけ広い場所でとり、食事は対面を避ける。
7. 手洗いの徹底、消毒用アルコール、次亜塩素水を常備し、こまめに手指、携帯電話等、車を消毒する。
8. 発熱、風邪症状のある家族が居るときは、双方マスクを着用し、タオル、食器、箸、スプーンなどを共用しない。
9. 発熱、風邪症状のある家族が居るときは、可能なかぎり食事を一緒にしない。
10. 同居する者に発熱、風邪症状が出たら、すぐに課長又は主任に報告し出勤可能かどうかの指示を仰ぐ。
11. 家族が道外に出張に行く場合、あるいは道外の赴任先から帰ってくる場合等は必ず事前に課長又は主任に報告する。
12. 同居する者が勤める会社内及び関係者に感染者が発生したら速やかに課長又は主任に報告する。

感染は人ごとではありません。

自分を守り、大切な人を守り、利用者、職場の仲間を守るため、全員で心をひとつにして、取り組んでいきましょう。

施設長